

我が家のアイドル募集

締切は、1歳の誕生日です。お子さんの名前（ふりがな）・性別・誕生日・住所・電話番号・保護者氏名を書いた「メモ書き」と写真（裏面に名前明記）を、郵送、メール（5MB以内）、または直接広報広聴係（市役所本館3階）へお持ちください。※写真は頭からあごまでが写り、顔の周りに余裕があるものを用意してください。

〒322-8601 今宮町 1688-1
 広報広聴係「我が家のアイドル係」
 メール koho@city.kanuma.lg.jp
 右のQRコードからもアクセス可能



1歳を迎えたお子さんをご紹介します。
 ※1月22日～2月16日生掲載



北赤塚町
 橋本 芽依ちゃん
 (H31.1.22 生)



貝島町
 渡辺 晴輝くん
 (H31.1.23 生)



緑町2丁目
 星野 藍花ちゃん
 (H31.1.28 生)



口栗野
 湯澤 健くん
 (H31.1.28 生)



幸町2丁目
 楡木 陽頼ちゃん
 (H31.1.29 生)



東町2丁目
 秋元 結来くん
 (H31.2.2 生)



西茂呂4丁目
 石井 菜月ちゃん
 (H31.2.2 生)



花岡町
 手塚 結愛ちゃん
 (H31.2.4 生)



上殿町
 仲田 乙翔ちゃん
 (H31.2.5 生)



上石川
 西藤 楽ちゃん
 (H31.2.5 生)



東町3丁目
 藤村 優芽香ちゃん
 (H31.2.9 生)



茂呂
 宇賀神 成くん
 (H31.2.13 生)



千渡
 山口 真侑ちゃん
 (H31.2.15 生)



玉田町
 根本 歩くん
 (H31.2.16 生)

おめでとうございます。

御成橋町2丁目
 井上 はるいさん
 (T9.3.13 生)

新型コロナ地域の夢

空き家・水道料金

オーケストラ
 プラネタリウム

採用試験・アイドル

市民のひろば

フラッシュ

健康

お知らせ

まる博ものがたり

ステキな人発見!



あじさい農家

まさおみ
小久保 真臣さん (37歳・油田町)



プロフィール

趣味…ルアーフィッシング
好きな食べ物…肉全般

今回紹介するのは、あじさい農家の小久保さんです。あじさいの栽培は、まず、4月に親株からの挿し木を行い、6月には苗の鉢へ植え替え、8月には剪定作業を行います。冬の寒さを経験させた後、翌年1月からビニールハウス栽培に切り替え、ようやく4月から出荷となります。あじさいは全国各地の園芸店等に並びほか、新・鹿沼宿などでも販売しています。生き物を管理する仕事のため、完全な休日はないという小久保さん。それでも、仕事の合間を使い、子どもクラブ活動に参加するなど、充実した日々を送っています。また、最近はクワガタのブリードに熱中しているそうで、「根本的に何かを育てるのが好きなんだと思います」と笑顔で話してくれました。「最後までこの地域と農業に携わっていかれたら」と目標を語る小久保さん。生涯現役で、美しい花々を愛情たっぷり育み続けてください。



市民俳壇

花筏千手の仏舞い降りる

切り通し揺れ様々に濃山吹

疫癘のパンデミックや春疾風

物干して物泳ぎたり春の風

観櫻の客足止める春の雪

初蕨貫いて帰る夕間暮れ

回覧の玄閑落す春の泥

空白に過ぎつる春の休みかな

市民歌壇

あちこちのドラッグストアにマスク無く吾は虹色のマスクを作る 御成橋町一丁目 秋澤 和子
花々をカメラに収め入院の吾に見せ呉る嫁優しき 上日向 高山 トミ

小林 夏江選

石橋町 宇賀神タカ子
引田 斎藤 良明
檜木町 上野佐喜子
中田町 高内シヅエ
見野 松永 勉
万町 海原ゆう子
坂田山三丁目 角田 敏枝
宗町一丁目 中荒井弘美

ぶんげい

名前(ふりがな)・住所を明記し、はがき・メールで応募ください。締切は毎月20日(到着日)です。
〒322-8601 今宮町1-688-1
メール koho@city.kanumaj.jp
広報広聴係(応募部門を明記)

布川 武男選



※通常のマスクの応急的な代用品としてご使用ください。



上が子ども用、下が大人用。

ティッシュやガーゼによるマスクの作り方を市ホームページ(右QRコード参照)で公開しています。



*** 身近な情報をお寄せください ***

皆さんの周りに、誰かに伝えたいような珍しい話題や楽しい話題はありませんか? ぜひ下記までご連絡ください。

連絡先 鹿沼営業戦略課広報広聴係

☎ (63)2128 ・ FAX(63)2292

メール koho@city.kanuma.lg.jp

いちごいちえ 通信 No.18

皆さんの周りのちょっと珍しい話題をご紹介します。

ティッシュで作るマスク

ひろし 駒宮 洋さん (引田)

ティッシュペーパー造形作家として活躍する駒宮さんが、ティッシュで作るマスクを考案しました。

新型コロナウイルス感染症予防のためのマスク不足が続くなか、少しでも社会の役に立ちたいという思いからティッシュでの代用を考えたという駒宮さん。

鼻と口元に当てる部分と耳に掛ける紐を3枚のティッシュペーパーで作るので、木工用ボンドを使いながらティッシュを折ったりこより状にしたりと、子どもも工作感覚でマスクを作ることができます。

「感染症流行の終息が見通せない今、マスク作りを通して家族や友人同士で、予防の重要性を認識してほしい」と、駒宮さんはアイデアに込めた思いを語りました。

市民川柳

白石 洋 選

群れて咲く松の林の岩団扇かれんな花に心安らぐ
 西沢町 阿部 芳江
 身仕舞し花に埋れて旅立ちの姉八十二歳一期穏やか
 久野 広田 文子
 今日明日に花に変わるか桜木の溢るる蕾にわが鬱託す
 入粟野 神山 和子
 田園に即かず離れず二羽の鴨孫娘の門出を祝うが
 戸張町 柿沼しげ子
 紅梅と白梅盛り咲くそばに桜の蕾は日毎ふくらむ
 日吉町 小川 豊治
 両手いっぱい桜花びら持つ孫に風はいたずら花びら
 上殿町 山野 幸子

靴下を片足立ちで履けぬ老い
 戸張町 福田 進亮
 今日もまたコロナコロナで日が暮れる
 上野町 高橋 正光
 照れながら花柄マスクつける父
 御成橋町一丁目 長谷川 侃子
 桜より財布現金給付金
 日吉町 佐野 正晃
 楽しみはる蜜避けて後まわし
 酒野谷 杉山 進
 濃厚な接触はない我が家では
 上日向 高山 茂
 観られても観られなくても咲く桜
 御成橋町一丁目 金子 直美
 菓ごもりに彩り添える五七五
 上殿町 小暮 靖子